

細胞内シグナル伝達機構の多角的・包括的理解

日 時： 平成 16 年 10 月 7 日（木） - 10 月 8 日（金）

場 所： 岡崎コナレンスセンター（2 階 小会議室）

提案代表者： 宮脇 敦史（理化学研究所脳科学総合研究センター）

所内対応教官： 河西 春郎（生体膜部門）

10 月 7 日（木）

Session（座長：宮脇 敦史）

午後

- 0:40- 1:10 B リンパ球における Ras-Erk 活性化メカニズム
黒崎 知博（理化学研究所・免疫・アレルギー科学総合研究センター）
- 1:10- 1:40 nNOS-GFP transgenic マスの作製による腎マクファージ細胞機能の研究
安岡 有紀子、鈴木 喜郎、河原 克雅（北里大学医学部）
- 1:40- 2:10 一分子イオンチャネルによる細胞質-核間輸送の分子機構
徳永 万喜洋（理化学研究所・免疫・アレルギー科学総合研究センター）
- 2:10- 2:20 コヒートプレイク（10 分間）

Session（座長：永井 健治）

午後

- 2:20- 2:50 2 光子ゲルミナシ法を用いた単一分子イオンチャネルの分子形態依存性の解析
野口 潤、松崎 政紀、河西 春郎（生理学研究所）
- 2:50- 3:20 一酸化窒素(NO)シグナルによる神経活動コーディングとシナプス可塑性：NO 可視化を用いたアプローチ
柿澤 昌、並木 繁行、廣瀬 謙造、飯野 正光（東京大学大学院医学系研究科）
- 3:20- 3:50 神経ステロイドによるシナプス可塑性の誘導：膜電位イオンチャネルによる解析
曾我部 正博、陳 玲（名古屋大学大学院医学系研究科）
- 3:50- 4:00 コヒートプレイク（10 分間）

Session（座長：河西 春郎）

午後

- 4:00- 4:30 破骨細胞プロトンチャネルの電位依存性調節機構
久野 みゆき、酒井 啓、川脇 順子、森 啓之、森畑 宏一、翁 昌子
（大阪市立大学大学院医学研究科）
- 4:30- 5:00 心筋細胞における生理的な 3 量体 G 蛋白質サイクルの構築
～ G 蛋白質制御カリウムチャネルの電流特性より～
石井 優、鈴木 慎悟、倉智 嘉久（大阪大学大学院医学系研究科）
- 5:00- 5:30 小脳登上線維-プルキンヤ細胞シナプスの生後発達における電位依存性カルシウムチャネルの役割
橋本 浩一、狩野 方伸（金沢大学大学院医学系研究科）

6:00- 懇親会

10月8日(金)

Session (座長: 水野 秀昭)

午前

- 9:00- 9:30 TRPM2 チャネルによるシグナル・生理応答制御
原 雄二、山本 伸一郎、片野 正展、木内 祐二、清水 俊一、 森 泰生
(京都大学大学院工学研究科)
- 9:30-10:00 マクロファージに発現する TRPV2 チャネル
長澤 雅裕、小島 至(群馬大学生体調節研究所)
- 10:00-10:30 in vivo 血小板活性化機構のリアルタイム解析
最上 秀夫、林 忠毅、村上 祐介、浦野 哲盟(浜松医科大学)
- 10:30-10:40 コヒープレイク (10 分間)

Session (座長: 飯野 正光)

午前

- 10:40-11:10 DGK と PKC の分子機能協働の解析
齋藤 尚亮、白井 康仁、山口 泰人、松原 岳大(神戸大学バイオシグナル研究センター)
- 11:10-11:40 PLCzeta と Ca²⁺オシレーション
宮崎 俊一、河内 全、尾田 正二、依田 綾子、白川 英樹、淡路 健雄
(東京女子医科大学)
- 11:40-12:10 Calyx of Held におけるシブス小胞エンドサイトシスの分子機構
山下 貴之、髭 俊秀、高橋 智幸(東京大学大学院医学系研究科)
- 12:10-12:40 細胞内シグナル伝達機構の多角的・包括的理解
宮脇 敦史(理化学研究所脳科学総合研究センター)